

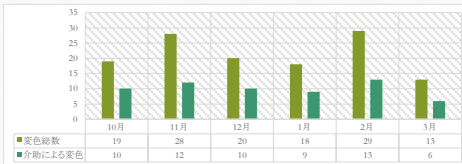
## 自立支援介護の取り組み ～K様の変色ゼロを目指す～

くらし事業部くらし係リーダー 宮崎広太

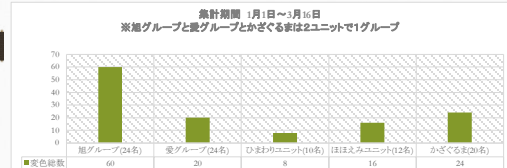
## 旭グループ(きらら・ほたるユニット)では

- 今年度変色が多発
- 次々と変色ができて検診が追いつかない
- 重大であることに気づかず他人事になっている

## 旭グループ下半期の変色数まとめ



## 他ユニットとの比較



## 一人のお客様に焦点をあてる



- 変色のしやすいお客様、部分をピックアップ
- 職員一人ひとり介助方法の確認が必要
- 対象のお客様を知らないとお互いにデメリットが生まれる
- まず一人の対応をしっかりとできることが大切

## 事例: K様

- 大正14年生まれ 現在92歳 男性
- 介護度5
- カラオケ大好き、新聞が日課、食べるの大好き
- 入居前は慈恵園のデイサービス、ショートステイを利用
- 移動は車いす、つかまることで数秒の立位はできる



## K様の変色歴(下半期)

|           | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 合計 |
|-----------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 変色数       | 2   | 3   | 1   | 0  | 4  | 10 |
| 膝下<br>変色数 | 2   | 2   | 1   | 0  | 3  | 8  |

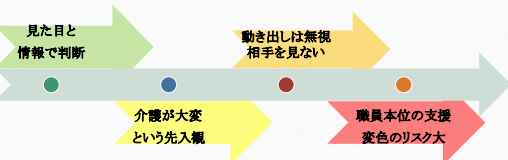
ほとんど膝から下の変色！

## 考えられる背景と仮説

- 車いすからベッドへの**移行時**が多いと思われる
- スイングアーム介助バーにつかまって**立ち上がった際**にひざをぶつけている
- 移行介助時ひざが当たっていることに**気づいていない**
- 皮膚が弱い**ために少しの衝撃で変色、傷ができてしまいやすい



## 介護職員の意識は？



## K様の移行介助

- 目的～K様をよく知り、本人様に合わせた支援ができる(介護技術目標)
- 方法
  - 自分の介助を模範介助として撮影
  - ユニット職員8名の支援方法を知るために動画撮影を行なう
  - 動画撮影前に模範動画を見てもらう

※模範のコンセプトとして

本人様とコミュニケーションを図りながら、相手が動き出すきっかけ作りをする

## 動画を見るポイントとして

- 声かけや手振りに対する動き出し
- K様と職員の距離感



## 旭グループ動き出し指標

※あくまで独断と偏見によるものです

|   |   |  |
|---|---|--|
| 甲 | A | 『動き出しはご本人から』がしっかり意識できてます。主役はお客様、我々は舞台袖の黒子です。 |
|   | B | 動き出しをだいたいぶ待っています。もっと細かい筋肉の動きを感じてみてください。      |
|   | C | 少し我慢してご本人に任せてみてください。慣れたらお互いに良い方向へ変わるはずですよ。   |
| 乙 | D | まず言葉を変わってみませんか？ 相手とつながることから始めましょう。           |
|   | E | 動き出しは介助者から。まさに真逆と言えます。昔の介護はそろそろ卒業しましょう。      |

### 動き出しランク A

『動き出しはご本人から』がしっかり意識できてます。主役はお客様、我々は舞台袖の黒子です。



### 動き出しランク D

まず言葉をお交わしてみませんか？相手とつながることから始めましょう。



### 動き出しランク E

動き出しは介助者から。まさに真逆と言えます。昔の介護はそろそろ卒業しましょう。



### 動画の比較から感じたこと

やりやすさを求める結果「自己流」

効率を求める結果「やってあげる」

その場のしのぎの結果「進化のない介護」

ひと昔前の介護から抜け出せない現状

#### ①動画撮影を続けていく

(考察と振り返りがしやすい)

#### ②基礎の介助動作を学び直す

(会議や個別でロールプレイ)

#### ③生活を守る委員会と連携をとる

(変色に対する意識を高める)

変色ゼロに向けた旭グループの今後

「待てる介護」  
と  
「待てない介護」

#### 待てる介護


- ・心身機能の維持につながる
- ・介護をする側は負担が軽くなる
- ・介護を受ける側は自信につながる

#### 待てない介護

- ・廃用性症候群を促進させる
- ・介護をする側はストレスにつながる
- ・介護を受ける側は自尊心が損なわれる(何もできない人)

**求められる  
専門性**

- 必要なのは知識と技術だけではなく思いやり
- 動き出しを待つ事はお互いの信頼につながっている
- 職員の笑顔がお客様の笑顔のある暮らしをつくり家族様の安心をつくる




END



意識高めに動き出しましょう